

## 第51回： 病原性微生物による水系感染の現状と対策

開催日： 2006年1月11日（水） / 会場： 「早稲田大学理工学部（大久保キャンパス）」東京都

開催趣旨： 病原性原虫クリプトスポリジウムによる大規模な集団感染事故がわが国で発生してから今年で10年を迎えます。厚生労働省による暫定対策指針を踏まえ、浄水施設の改造や膜ろ過などの技術導入により対策が進められているが万全な状況ではありません。また、病原性大腸菌(O-157など)、病原性ウイルス(ノロウイルスなど)の感染事例が多数報告されるなど、食品や飲料水の安全性に対する社会的要求が高まっています。

本セミナーでは、病原性微生物汚染の現状と、厚生労働省の取り組み、各微生物（原虫、細菌およびウイルス）に対する消毒技術として、塩素剤、オゾンなど化学的方法や砂・膜ろ過といった分離技術をはじめ、最近、特に注目される紫外線処理について最新動向と展望についてご講演いただきます。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 水道における病原性微生物問題に対する取組（倉谷英和／厚生労働省健康局水道課）
- 病原性原虫の消毒技術（森田重光／麻布大学環境保健学部）
- 病原性細菌の消毒技術（土佐光司／金沢工業大学環境・建築学部）
- 病原性ウイルスの消毒 ～その意義と技術について～（大瀧雅寛／お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科）
- 病原性微生物による水系感染の現状と対策および今後の展望（平田強／麻布大学環境保健学部）